

授業科目(ナンバリング)	精神保健福祉論 (DA223)			担当教員	丸山 貴志		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>この科目では、ディプロマポリシーに照らし、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションなども想定し、次の専門的知識・技能を習得し、それらを国際社会、及び社会生活における様々な課題に適用して解決を図ることができることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者の生活支援の意義と特徴について理解する ・精神障害者の居住支援に関する制度・施策と相談援助活動について理解する ・職業リハビリテーションの概念及び精神障害者の就労支援に関する制度・施策と相談援助活動(その他の日中活動支援を含む)について理解する ・行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動について理解する 							②④⑥
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	精神障害者の居住支援に関する制度を説明できる。精神障害者の就労支援に関する制度を説明できる				期末レポート	16%	
	行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動を説明できる				授業課題レポート	25%	
情報収集、分析力	精神障害者の地域生活支援システムの現状を、データや制度から読み取り、それに対する自らの考えを述べるができる				授業課題レポート	16%	
コミュニケーション力	毎回の授業において、関心を持った概念、トピックを指摘できる				授業課題レポート	11%	
協働・課題解決力	個人またはグループでの活動に参加できる				授業課題レポート	16%	
多様性理解力	ICFや疾患と障害の併存、ピープルファーストという考え方をを用いて精神障害を表現できる				授業課題レポート	16%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>毎回の授業において課題レポート (84%)。期末の課題では、精神障害のとらえ方、精神障害者の居住支援に関する制度、精神障害者の就労支援に関する制度、行政機関における精神保健福祉士の相談援助活動の理解の程度を評価する。それらの理解に基づき、精神障害者の地域生活支援システムのあり方について自らの考えを論述する。正しい理解に基づいて、自分の考えを論理的にわかりやすく展開したものとなっているかを評価する (16%)。毎回の授業内レポートに対してポートフォリオにてフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。精神障害者の地域での自立と社会参加を促進し支援するために必要な、相談支援、居住支援、就労支援、権利擁護について、その現状、法制度の変遷、仕組みづくりを学ぶ。授業は遠隔にて行い、スライド動画での学習と毎回の課題提出を求める。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：日本精神保健福祉士養成校協会編『精神障害者の生活支援システム (第3版)』中央法規、2018。 参考書：野中猛『心の病 回復への道』岩波書店、2012。 指定図書：日本精神保健福祉士養成校協会編『精神障害者の生活支援システム (第3版)』中央法規、2018。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							

授業は予習、復習を心がけ、積極的に取り組むこと。さらに、社会福祉関連の行事やボランティア活動に参加したり、関連する映画、番組、図書、新聞などにより、関心の幅を広げることを期待する。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	科目のねらい、目標、進め方等を理解する	シラバス、「はじめに」を読み 科目の概要を理解する
2	精神障害者の概念①	国際生活機能分類(ICF)のモデル、障害者基本法、精神保健福祉法での定義を学び、グループワークから、「精神障害」を考える	予)第1章を読む 復)ICFモデルから「精神障害」を説明できるようにする
3	精神障害者の概念②	「疾患と障害の併存」、ピープルファーストの考え方を学ぶ。精神障害者の概況を学ぶ	授業内容を復習し「疾患と障害の併存」というとらえ方を理解する
4	精神障害者の生活の実際	精神障害者の生活の状況、就労・経済状況、家族の現状、精神障害者と地域社会の現状と課題などを、データから学ぶ	予)第2章を読む(復)地域で行われている精神障害に関する普及活動を調べる
5	精神障害者の生活と人権	生活、生活支援の概念を理解し、地域生活支援を考える 精神障害に対する差別・偏見を考える	予)第3章を読む 復)地域生活支援システムの考え方を整理する
6	精神障害者の居住支援①	居住支援制度の概要を歴史的展開から学ぶ	予)第4章1,2節を読む 復)居住の場の変化の歴史を理解する
7	精神障害者の居住支援②	居住支援の現状と精神保健福祉士等の役割を学ぶ	予)第4章3,4,5節を読む 復)居住支援のニーズ、制度を理解する
8	精神障害者の就労支援①	就労の意義や就労支援制度の概要を学ぶ	予)第5章2節を読む(復)障害者雇用促進法の復習と雇用就業支援の概要理解
9	精神障害者の就労支援②	就労支援制度の歴史的展開と就労支援にかかわる専門職を学ぶ	予)第5章3,4節を読む 復)障害者総合支援法と専門職の概要を整理する
10	精神障害者の就労支援③	就労支援の実際と、IPS支援や、ソーシャルファーム、うつ病の方の復職支援等の近年の動向を学ぶ	予)第5章6,7節を読む 復)授業を復習し、雇用・就業支援の考え方を理解する
11	行政における相談援助	市町村、都道府県における相談支援システムと精神保健福祉士の役割を学ぶ	予)第6章を読む 復)市町村、都道府県の相談支援システムを理解する
12	精神障害者の地域生活支援システム①	相談援助、就労、余暇活動など、地域社会で生活するシステムを学ぶ	予)第7章1,2節を読む 復)ともに地域で生活する相談支援を理解する
13	精神障害者の地域生活支援システム②	ソーシャルサポートネットワークやクライシスケアシステムなどの地域生活を支援する仕組み、体制を考える	予)第7章3,4節を読む 復)地域のソーシャルサポートネットワークとクライシスケアシステムの現状を調べる
14	精神障害者の地域生活支援システム③	海外における地域生活支援モデルの動向を学び、地域生活支援システムの実際について理解する	予)第7章5,6節を読む 復)精神障害者の地域生活支援システムに関するキーワードを整理する
15	まとめ	全体を振り返り、精神障害のとらえ方、相談支援、居住支援、就労支援、権利擁護の仕組みについて、理解を深める	相談支援、居住支援、就労支援、権利擁護の仕組みを確認する
16	期末課題レポート		